

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	地域連携演習 Practice on Regional Cooperation		単位 1
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・自然科学系共通・基礎	授業形態・学期	演習・通年
	対象学生	専攻科・全学年全専攻	必修・選択の別	選択
	担当教員・所属	小西大二郎・総合理工学科機械システム系 中村重之・総合理工学科電気電子システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	工学・社会科学		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(6)校外実習，先端技術特別講義や学協会への参加を通じて，地域社会との連携を図るとともに，地球的視点からものを見ることの大切さを理解していること」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目の学習・教育到達目標は主として「(H) 地域社会との連携による総合能力の展開，H-1：地域社会との連携した学習や研究などの協働活動をとおして，専門分野を理解し（もしくは専門的観点から生産システムを理解し），説明できること」であるが，付随的には「A-1」，「D-3」にも関与する。内容は多岐にわたるので，(B) 地球的視野に立った人間性の育成，(F) コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成にも関連する。		
	授業の概要	今まで学習してきた知識や技術を活かして，公開講座等を通じて地域社会に貢献する。知識を深めるとともに視野を拓け，社会とのかかわりや技術が社会に及ぼす影響について広く学ぶ。□		
	学習目的	地域密着型の教育機関である本校の果たすべき役割を知るとともに小中学生に科学・技術や実験の面白さを伝えることにより，各自の知識や技術を再確認し研究や学習の新たな展開を図るための一助とする。 地域企業等からの依頼による課題の解決に寄与する。		
	到達目標	◎地域社会と連携した協働活動を通じて，クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できる ◎一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明，伝えることができる		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする」科目である。従って30単位時間の授業（演習）と授業以外に15単位時間の学習が必修となる。		
履修のアドバイス		各自の専門を活かして地域社会に貢献するとともに，これにより知見を拓ける努力をすることが大切である。 2年間に亘って履修可能な科目である。		
基礎科目		これまで学習してきた科目全般		

関連科目	全ての科目
------	-------

様式 B 地域連携演習（小西／中村）

授業にかかわる情報				
授業の方法		本校の関わる公開講座や出前授業，オープンキャンパス，地域イベント等へ積極的に参加して担当教員に協力し，実施後に指定された報告書を提出する。		
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	通	行事への支援 30 時間以上	● 本校の関わる公開講座や出前授業，オープンキャンパス，地域イベント等での指導と支援	● 行事の予習，準備，後片付け（準備日を設けて準備を行った場合は，授業時間に含めても良い）
	年	合 計 30 時間以上	● 複数の行事に合計 30 時間以上協力し，決められた報告書（レポート）を提出すること(実施時間に移動時間は含まない)。	● 決められた報告書の作成（書式は別途指示）
教科書，教材等		各種行事の開催案内，講座のテキスト等		
成績評価方法		単位認定願の提出があった者に対し，行事の報告書（レポート）により評価する。評価は「合否」とし，年度末の専攻科運営委員会を経て単位認定を行う。		
受講上のアドバイス		主として，地域社会と関わる授業となるので，実施に際しては本校学生としての自覚を持って行動すること。 自分の専門分野以外にも積極的な協力を期待している。 本科目の関係する行事等は担当教員に確認すること。		

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できるだけでなく、新たな問題提起・提案ができる。		地域社会と連携した協働活動を通じて、クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できる。		地域社会と連携した協働活動を通じて、クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践できる。		クライアントの要求を解決するために創案した設計解を実践して評価できない。
評価項目 2	自ら教材を提案・作製し、一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができる。		与えられた教材を元に自ら提案・作成した教材も用いて、一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができる。		与えられた教材を用いて、一般市民にも専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができる。		与えられた教材を用いても、一般市民に専門的な知識や技術を分かりやすく説明し伝えることができない。
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	報告書	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	30	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	70	70